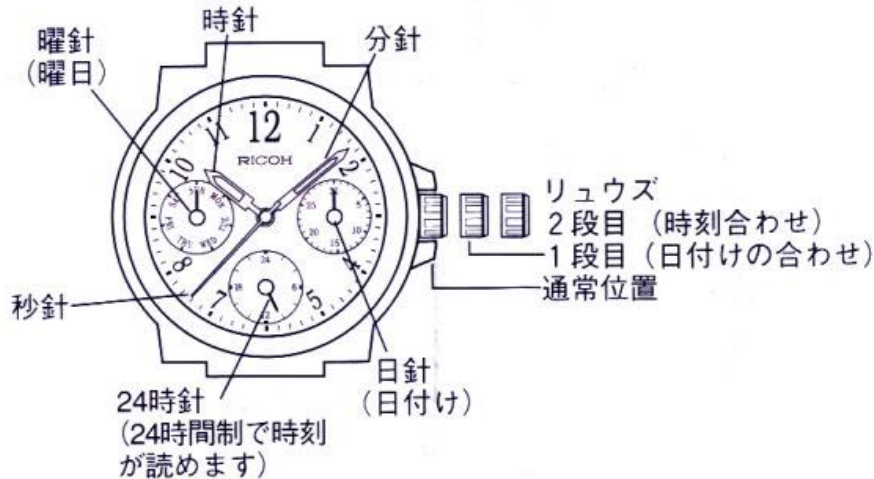


取扱説明書 786型 完成品

[1] 特 徴

通常の時・分・秒の他に 24時・日付・曜日も針で示す多軸のアナログクォーツです。

[2] 外観と時刻合せ概略案内



[ご注意]

- ・この時計の24時針は時針に連動して動きます。単独での修正はできません。
- ・曜日を示す曜針には、修正機構がありませんので時刻合わせの際、時・分針を回して合わせることになります。
(→「時刻の合わせかた」を参照)

■時刻の合わせかた (曜日の合わせと時刻の合わせ)

- ・この時計には曜針の修正機構がありませんので、時刻合わせの前に時・分針を回して曜日を合わせることから始めます。



①秒針が、ちょうど「0秒」の位置に来たとき、リュウズを2段目まで引き出してください。時計が止まります。

②リュウズを右に回し、時・分針を進めていき午前0時を通過すると、曜針が動き始めます。曜針が次の曜日を差し示すまでさらに時・分針を進めてください。曜針をさらに送る必要がある場合は、ここで逆に、時・分針を4～5時間分戻してから、再び進み方向にリュウズを回すと、曜針を早く進めることができます。これを繰り返して曜日を合わせてください。

[ご注意] リュウズの回転は静かに行ってください。

③曜日を合わせたら、時刻合わせをします。午前午後を間違えないように、時刻を合わせてください。

[ご注意] 正確に合わせるために、分針を合わせる時刻より4～5分位進めてから、逆に戻して合わせてください。

④合わせた時刻の時報を待ち、時報と同時にリュウズを押し込んでください。

■日付けの合わせかた（日針の合わせ）

- ・時刻合わせをした後、日付け合わせを直すとき。
- ・前月が小の月（1カ月の日数が30日の月と2月）で月始めの日付けの修正のときに行います。



① リュウズを1段目に引き出してください。



② リュウズを右に回して日付けを合わせてください。



③ 合わせ終わったらリュウズを押し込んでください。

【ご注意】

- ・日針の動きを確認しながら合わせてください。
- ・時計の針が、午後9時～午前1時にあるときは日付けの合わせをしないでください。合わせができなかったり、合わせても次の日に日付けが正しく送られないことがあります。